

# 学びの杜通信 臨時号

令和3(2021)年9月22日発行



新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、子どもたちにも様々な変化がみられていることと思います。遅刻や保健室利用の増加、髪型や服装などの見た目の変化、一緒に行動する友人の変化など…。特にそのような変化がみられる子どもたちには、まずは、気持ちを受け止めるかかわりが大切です。通常の授業が本格的に再開されつつある今、改めて子どもへのかかわりを見直してみましょう。

## 子どもの気持ちを受け止めるかかわり

### ◎ 子どもの気持ちに注意を傾けてきく

- ・「子どもがどんな気持ちなんだろう」と意識し、話をしているときの子どもの表情の変化などに注意をしながらききましょう。



### ◎ 子どもの気持ちがあるがまま認める

- ・言動や出来事の詳細について尋ねたり教師の考えを伝えたりする前に、まずは、子どもの気持ちがあるがまま認めましょう。  
「つらかったね……」「苦しいよね……」「不安になるよね……」 等

### ◎ 子どもが気持ちをことばで表せるよう手伝う

- ・子どもが自身の気持ちに気付けるように促すことばかけをしたり、子どものことばの背景にある気持ちを推測して伝えたりしましょう。  
「あなたが～と感じているのは……?」「実のところは……?」  
「友達なんかいないと思うほど、辛いことがあったのかな?」 等

いつものことばかけ、子どもの立場できいてみると……

一欠席や遅刻が増え始め、何事にも「めんどくさい」と言うAさんの場合ー

| 〈教師のことばかけ〉     | ⇒ | 〈子どもの気持ち〉        |
|----------------|---|------------------|
| 「どうしたの?」       | ⇒ | (どうしたのって言われても……) |
| 「みんな頑張っているんだよ」 | ⇒ | (みんなは関係ないよ……)    |
| 「先生もね…(経験談)…」  | ⇒ | (そんなこと聞いてないよ……)  |



Aさん

☞ 子どもによっては、このように感じてしまう可能性も考えられます

**気持ちを受け止めることが子どもの安心につながり、自分自身に向き合うきっかけとなります**

\* 総合教育センターでは、子どもや保護者、先生方からの相談を受け付けています。学校や家庭で気になる様子などがみられましたら、どうぞ御利用ください。【問合せ先】教育相談部(Tel 028-665-7211)